

サロン活動のヒントに

セイエイ百貨店・千厩 理美容、料理紹介

県美容業生活衛生同業組合、東磐井地区生活衛生同業組合連絡協議会が取り組む「岩手セイエイ百貨店」のデモンストレーション事業は23日、一関市千厩町の千厩農村環境改善センターで開かれた。理容師や調理師が町内のふれあいサロン代表者にネイルなどプロのサービスを紹介、サロン活動のヒントを提案した。

千厩地域のふれあいサロン代表者と世話人ら15人ほか参加。理容師と美容師、調理師が講師となり、時間を区切ってネイル講座とヘア

イスパ講座、料理講座を開催し、普段店で行っているサービスを提供した。このうち、同連絡協議会長の小野寺宏行さん（同市大東町・ヘアサロンオノデラ）と青柳香織さん（同市千厩町・ヘアサロンあおやぎ）は、蒸しタオルによる眼球疲労や肩こりの軽減、リラクゼーションなどの効果を説明し、参加者に実際に効果を感じてもらったほか、代表の女性に顔そりや基礎化粧品を使ったスキンケアなども施した。このほか、ネイル講座で

一人ひとり液の塗り方などを体験。料理講座では、レシピや作り方の手順などを紹介しながら「チャーハン風味の混ぜご飯」と「減塩風員の潮汁」の2品を調理し、みんなで試食した。同日は市社会福祉協議会千厩支部からも職員らが参加し、サロン活動に関する情報提供などを行った。小野寺さんは「皆さんに普段のサロンと違う体験をしてもらい、家にこもりがちな方や介護で疲れている方にリフレッシュしてもらうほか、生活衛生に関わる

サービスマンや技術を知ってもらえれば」と話していた。同連絡協議会などは理美容や飲食系など多彩な情報を網羅した冊子を製作し千厩地域の全戸に配布した。



ふれあいサロンの代表者を前にスキンケアの実演などが行われた岩手セイエイ百貨店